

製品名: GRK 3 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab11774

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	ADRBK2
別名	ADRBK2; BARK2; GRK3; Beta-adrenergic receptor kinase 2; Beta-ARK-2; G-protein-coupled receptor kinase 3
遺伝子 ID	157.0
SwissProt ID	P35626
免疫原	抗血清はヒト GRK3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410

背景

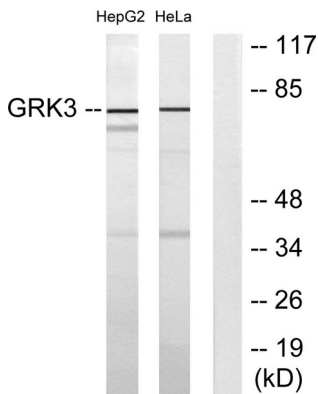
β アドレナリン受容体キナーゼは、 β アドレナリン受容体および関連 G タンパク質共役受容体のアゴニスト占有型を特異的にリン酸化

します。全体として、βアドレナリン受容体キナーゼ2はβアドレナリン受容体キナーゼ1と85%のアミノ酸相同性を示し、タンパク質キナーゼ触媒ドメインは95%の相同性を示します。これらのデータは、受容体機能を広範に制御する可能性のある受容体キナーゼファミリーの存在を示唆しています。[RefSeq 提供、2008年7月],触媒活性: ATP + [βアドレナリン受容体] = ADP + [βアドレナリン受容体]リン酸。機能: βアドレナリン受容体および近縁受容体のアゴニスト占有型を特異的にリン酸化します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。AGC Ser/Thrタンパク質キナーゼファミリー。GPRKサブファミリー。類似性: 1つのAGCキナーゼC末端ドメインを含みます。類似性: 1つのPHドメインを含みます。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。類似性: 1つのRGSドメインを含みます。,

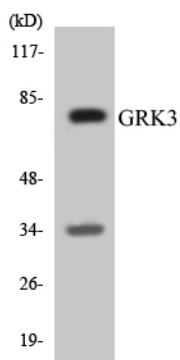
研究分野

ケモカイン;エンドサイトーシス;嗅覚伝達;

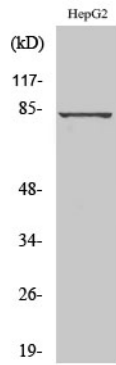
画像データ



GRK3抗体を用いたHepG2細胞およびHeLa細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GRK3抗体を使用したK562細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



GRK3 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。